

# シナリオ 対岸の火事

脚本製作者：krbysh

難易度 ★★☆☆☆

## シナリオの特徴

ルールX1 およびルールX2の関係者が病院と都市に配置されており、ルールYの関係者が神社と学校に配置されているシナリオ。さながら対岸の火事のように。主人公は、それぞれの関係者を相互に接触させ、友好能力を活用することで、惨劇を回避することができる。

医者（フレンド）や巫女（パーソン）の友好能力が有効なシナリオで、主人公と脚本家の能力合戦が熱い。

最後の戦いでは、マイナスとパーソン（能力を隠している場合は、クロマクも）以外が公開されている状態なので、役職が一致することもある。巫女（パーソン）の友好能力で役職を探しにくる場合は、その可能性が上がる。

## 脚本家への指針

### 【共通】

巫女の友好能力が鍵になる。役職を探しや悪霊の封印封じの可能性があるので、友好禁止や神社からの移動や、入院患者に殺害させよう。

### 【ループ1】

入院患者で医者を殺害する。お嬢様の役職は公開させないように。

## 脚本家の勝利条件

- 1 神社に2つ以上の暗躍カウンターを置く  
悪霊の封印
- 2 フレンドどちらかの殺害  
シリアルキラーの能力、自殺、病院の事件
- 3 主人公の殺害  
病院の事件

### 【ループ2】

お嬢様を神社に移動させ、神社に暗躍Cを乗せ、悪霊の封印で主人公を殺害する。移動できない場合は男子学生で暗躍Cを乗せる。巫女対策は忘れずに。

### 【ループ3】

不安Cをサラリーマンと刑事に乗せ、自殺の事件を発生させる。サラリーマンの役職が既に公開されている場合や、不安臨界の関係上、主人公は、不安-1をサラリーマンに置く可能性が高いので、ミスリダーの能力で不安Cを刑事に乗せ、不安拡大の事件を発生させ、一気にサラリーマンの不安Cを稼ぐ。犯人が不安臨界2のサラリーマンなので、意表をつきやすい。

### 【ループ4】

巫女の友好能力を防ぎつつ、入院患者に不安Cを乗せ、最終日に病院の事件と悪霊の封印の2択を迫る。神社を優先して防ぐために、病院に暗躍Cを乗せやすくなる。主人公が医者の友好効果も利用し、入院患者の移動や、不安Cの除去など脚本家も気を抜けない。

## 非公開シート

ルールY	悪霊の封印	潜む殺人鬼	マイナス13	人物	役職
				男子学生	クロマク
				女子学生	マイナス
				お嬢様	アクリヨウツキ
				巫女	パーソン
				刑事	ミスリダー
				サラリーマン	フレンド
				情報屋	マイナス
				医者	フレンド
				入院患者	シリアルキラー

日数	事件	犯人
2	不安拡大	刑事
3	自殺	サラリーマン
5	病院の事件	入院患者

## 公開シート

ループ回数	ループ日数	5
4	4	5
惨劇セット	Basic Tragedy	
使用マップ	学校	神社
相談	可	不可

日数	事件予定
1	
2	不安拡大
3	自殺
4	
5	病院の事件
6	
7	
8	
9	
10	